

中川 勲 議員（代表質問）

1 安全・安心なまちづくりについて

- (1) 沖田川放水路整備の完成が平成28年度とのことであるが、もっと早くならないのか。
- (2) 養鶏場建設問題の現状はどうなっているのか。
- (3) 滑川市として地球温暖化対策はどこまで進んでいるのか。
 - ア 庁舎をはじめ多くの施設で耐震化や改装が行われているが、省エネ工事も行われたのか。
 - イ 自治公民館に太陽光発電装置設置の場合、補助はあるのか。
- (4) 富山地方鉄道各駅に公衆トイレの整備をすべきと思うが（越中中村駅・早月加積駅・浜加積駅・西加積駅）。
- (5) にぎわいのある活気に満ちたまちづくり計画はないのか（特に滑川駅前周辺・滑川漁港周辺（旧伊勢魚問屋跡等））。

2 教育文化について

- (1) 小・中学校における土曜学習が5月10日に実施されたが、効果はどうであったか。
- (2) 滑川市内指定文化財について
 - ア 滑川市指定文化財門松の保護を積極的に効果のある方法で保存をしてほしい。
 - イ その他の指定文化財についても維持管理はどうされているのか。

3 高齢者福祉について

- (1) 滑川市における高齢者福祉の現状はどうか。
- (2) 生きがい対策の現状と今後の対応は。
- (3) 高齢者の居場所づくりへの支援を（町内会単位で公民館開放の支援を）。

4 滑川市消防について

- (1) 富山県東部消防組合が設立されてから1年2カ月経過した今、滑川消防の状況はどうか。
- (2) 東部消防組合は当初の計画どおり進んでいるのか。
- (3) 昨年の魚津市における大火後、滑川市において対策はされたのか（防火水槽・消火栓の数は十分か）。
- (4) 全国的に消防団員の減少が言われているが、滑川市消防団はどうか。

5 観光施策について

- (1) ほたるいか海上観光の今年度の状況はどうであったか。
- (2) 観光船の増船は考えていないのか、また年間を通しての観光船の運航は考えられないのか。
- (3) ものづくりのまちの産業観光を推進することだが、具体的に進んでいるのか。
- (4) ほたるいかミュージアムの入館者数や運営状況はどうか。

6 新教育長就任にあたって

- ・ 伊東新教育長就任にあたっての抱負と滑川市教育行政方針を問う。

浦田 竹昭 議員（代表質問）

1 副市長就任の抱負について

- (1) 配付文書に対する見解について
- (2) 副市長の職責並びに報酬の見解について
- (3) 副市長就任の抱負と庁内・議会・対外の対応、並びに今後の市政に対する思いについて

2 北アルプス横断道路構想について

- (1) 市の重点要望事業として、県・国への今後の対応について
- (2) 上市町並びに隣接市との連携について（例えば、北アルプス横断道路推進期成同盟会のような組織づくりについて）

3 立山黒部ジオパーク構想について

- (1) 立山黒部ジオパーク構想推進のメリットについて
- (2) 担当部課の明確化と専門的担当職員の配置について
- (3) 協議会との連携並びに庁内連携・地域連携の体制構築について
- (4) ジオサイトの発掘と市民への啓発・啓蒙について

4 みのおテニス村利活用計画について

- (1) 利活用計画検討中間報告について（東部山麓道路との関連も含めて）
- (2) 指定管理者の見直しについて
- (3) ファミリーハウスの利活用について（PR・営業活動含めて）

(4) テニス場・グリーンハウスのリフォーム並びに利活用について

5 安全・安心なまちづくり条例について

(1) 交通事故及び犯罪の現状と推移、並びに防止対策について

(2) 市民並びに各種団体との連携・取り組み・周知について

(3) 安全・安心なまちづくり条例の検討について

古沢 利之 議員（代表質問）

1 学校の耐震改修状況について

- (1) 報道では市内小中学校で、耐震性に問題がある棟数は2とされているが、完了予定を確認する。
- (2) 対策が未実施のつり天井が2となっている。どこか。平成23年9月の答弁と24年9月の答弁で齟齬があった。24年12月答弁では「調査の結果早急な対応は必要ない」ということではなかったか。
- (3) その他備品についても本当に大丈夫なのか。不信感が残る。

2 並行在来線について

- (1) 開業に向けて利便性確保・向上のために市としてどのように主張・行動してきたか。
- (2) 来年度の県への重点要望事項に「在来線と富山地方鉄道との相互乗り入れ」とあるが、具体的にどのような構想を描いているか。
- (3) 関西方面へは金沢での乗り換えが必要となる。泊・金沢間の快速電車は今のところ1往復だけが予定されている。利便性が大きく損なわれる。
- (4) 運行本数の増が必要と思うが、旅客本数を増やすとJR貨物からの貨物調整金が減額されると聞く。理解に苦しむ。見直しを求めるべきではないか。
- (5) 現在、滑川駅での東京行き乗車券購入者は無料駐車場が利用できる。この扱いを継続できるよう求めるべきでないか。

3 子ども図書館について

- (1) 位置づけについては、滑川市立図書館条例が図書館法に基づいて定められている。条例改正案では「子ども図書館」は子育て世代の活動を支援することが目的とされている。図書館法上の「図書館」なのか。子育て支援施設なのか。

(2) 「子ども図書館」は条例第5条（図書館奉仕）の第1号から第6号までの規定は適用されないのか。

水野 達夫 議員（代表質問）

1 中滑川駅周辺の土地利用計画について

- (1) 5月12日の西地区公民館での市長と語る会において、市長より冒頭挨拶の中で、中滑川駅周辺の土地を「できれば市で取得したい」との発言があった。改めて今の思いはどうか。
- (2) 滑川市として、土地利用計画の方針は定まったのか。まずは、市道滑川農協前線の十分な道路幅員の確保、地下式の調整池の設置等による抜本的な水害対策、駅周辺の賑わいの創出とコミュニティ広場の整備の3つの点に関して、方針の一部として考えることができるのか。
- (3) 平成26年度より、まちの活力の維持・増進（都市再生）に向けた都市機能の立地誘導を推し進めるための施策も創設され、5月14日には改正都市再生特別措置法が成立した。これらの制度を利用するには、「立地適正化計画」の策定が必要であり課題もある。そこで、例えば調整池の整備を実施する場合には、社会資本整備交付金事業等を中滑川駅周辺の整備手法の一つとして有効に活用できないか。

2 地域の安心・安全対策について

- (1) 平成23年6月定例会で質問した下水道事業のボーリングデータを活用した液状化マップ作製の検討結果はどうなったのか。また、現在の滑川市地域防災計画に掲げられている液状化マップに関する見解はどうか。
- (2) 耐震改修促進計画（平成22年12月策定）に掲げてある住宅及び特定建築物の耐震化率に関して、平成27年度末の目標値に向けての現在の状況はどうか。
- (3) 平成25年11月25日に「建築物の耐震改修の促進に関する法律」が改正施行された。この改正法により、「道路を閉塞させる住宅・建築物」の取り扱いがさらに厳しくなっており、今後、避難路沿道建築物等への対応はどのようにするのか。
- (4) 災害時の広報活動（情報発信）の手段として、現在は防災無線、防災

ラジオ、防災メール等が活用されている。さまざまな情報発信ツールは存在するが、新たにSNSを災害情報発信のツールの一つとして活用はできないか。

3 子どもの読書習慣定着化について

- (1) 市長の提案理由説明にあった「子ども一人ひとりの個性を伸ばし感性を磨くとともに、生きる力や創造力を高めるための読書習慣の定着化を目的とした」子ども図書館整備に当たり2階フロアの安全・防寒対策は十分か。
- (2) 「子ども図書館」は図書館の一部という位置付けで、今定例会に条例の改正案も提出された。図書館司書等スタッフの配置はどのようにするか。
- (3) 学校図書館法の一部を改正する法律案が今国会において審議中ではあるが、前県立図書館長である伊東新教育長の学校図書館司書の滑川市での配置状況についての見解はどうか。
- (4) 「滑川市子ども読書活動推進計画」によれば「できるだけ各校に専任の学校図書館司書を配置することが望ましい」と記載されているが、拡充する見通しはどうか。

4 介護保険事業の今後について

- (1) 第5期介護保険事業計画の最終年度に入り、数値目標等これまでの検証結果はどうか。
- (2) 平成27年度より第6期介護保険事業計画がスタートする。現時点での介護保険料の見込みはどうか。

角川 真人 議員（一般質問）

1 高齢者介護について

- (1) 要支援1・2とされている人への訪問・通所介護を市町村事業へ移そうとされているが、その対応を問う。
- (2) オレンジサロンの成果はどのように生かされているのか。

2 滑川市のまちなか再生への取り組みについて

- (1) まちなか再生事業の現状について
- (2) 富山県で行っている支援事業をもっと知ってもらうべきではないか。

3 過疎集落等自立再生緊急対策事業について

- (1) 滑川市での過疎化の現状について
- (2) 朝日町で行われている事業から、地域資源を活かしたツアー企画や買い物対策など見習えるのではないか。
- (3) ジオパークへの参加の前に、地域文化を見直す必要があるのではないか。

4 「なめりかわ昭和今昔写真館」終了にあたって

- ・ 滑川市の時代の流れをもっと多くの市民の方に見てもらうべきではないか。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 子どもたちの学力向上について

- (1) 先般、本市では土曜学習モデル事業に取り組みをするなど先進的な取り組みを行っているところである。前任の石川教育長（現副市長）からのそれらを含めた本市の教育に関わる引き継ぎは、しっかりと行われたのか。そして伊東教育長が描く、滑川市の義務教育課程における教育方針について問う。
- (2) 全国学力テストの公開について
 - ・ 先日、委員会視察で全国学力テストを公開している佐賀県武雄市に話を伺った。全国では2%の自治体しか公表していないが、本市はどうするのか。
- (3) 土曜学習について
 - ・ 5月から土曜学習がスタートをした。まだ1回目であるが、混乱はなかったのか。今後の検証について3月議会ではアンケート等の実施をすると伺っている。いつ、検証をするのか。内容と対象について問う。

2 市内スポーツ施設等の無料化について

- ・ 小学校のスポーツ少年団、中学校の部活動の練習で市内スポーツ施設、文化施設が無料化になるが、使用料のやりとりについて問う。
 - ア 本定例会に提出以外にも指定管理等、市が関与する施設がいくつかあると思うが、その扱いは。
 - イ 小、中学生が学校以外の施設へ行き来する場合の足の確保は？
 - ウ 市内の各施設の利用率が高まると思うが、競技力の向上にどう繋げるのか？

3 第三子以降の保育料等無料化について

- (1) 市長提案理由説明には将来人口の確保に繋げるためと明記してあるが、本当にそうなのか。

- (2) 実際、第三子以降の子どもたちは現在何人いるのか。
- (3) 無料化の実施について年度末の一括減免となっている。単月減免での対応はできないか。

4 子どもたちの通学路の安全対策について

- (1) 小学校あるいは中学校へ通う子どもたちへの通学路の安全対策について、本市の取り組みは。
- (2) 通学路の防犯対策について、防犯カメラ等の設置が有効であると考えるが、本市の現状と今後の展望について問う。

谷川 伸治 議員（一般質問）

1 人口減少社会への対応について

- (1) 6月4日厚生労働省が2013年の人口動態統計を発表したが、本市の過去10年の出生数の推移と、今後の見通しについて
- (2) 今後20～39歳の女性の人口が減少していくなか、人口減少に伴う財政状況の予想について
- (3) 人口減少をストップさせるための対策について
 - ア 少子化対策として婚活支援についてどう考えているのか。
 - イ 定住促進対策としてUターン、Iターンの方々が空き家を活用した場合の補助を考えてみては。
 - ウ 雇用を増やすための企業誘致はどのようなようになっているか。

2 サンコーポラス上小泉について

- (1) サンコーポラス上小泉の入居状況は、駅前住宅からの移転も順次進んでいるのか。
- (2) 駅前住宅から移転すると問題となるのが交通手段であるが、のるマイカーの平成26年6月1日ダイヤ改正で考慮してあるか。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 財務諸表から見える課題について

- (1) 資産の老朽化の進展について
- (2) 社会資本等形成の世代間負担比率の推移について
- (3) 税収に対する行政コストの比率の推移について
- (4) 資産更新に向けた備えについて
- (5) 職員教育と市民への情報発信について

2 市民会館大ホールについて

- (1) 過去3年間の利用状況について
- (2) 控室の改善について
- (3) 文化会館建設計画について

3 少子化対策としての婚活について

- ・ 婚活に取り組む課を新設してはどうか。

4 市職員の採用計画について

- (1) 職員数は適正か。
- (2) 類似団体比較で未だに全国一少ない職員数に対する見解は。
- (3) 地方分権一括法施行以後、市町村への事務移譲が拡大している。どれだけの事務が移譲され、それに見合う人員配置がされているのか。このことを考慮した上での採用計画を策定できないか。

中島 勲 議員（一般質問）

1 社会環境の整備について

- ・ 今後の市民交流プラザのあり方について当局の見解を問う。
 - ア プラザが担ってきた役割を含め、20億円以上かけたまちづくり交付金事業をどのように評価しているのか。
 - イ 福祉の拠点とした提案事業が大きく変更となるが、関係機関にはどのような説明をしたのか。
 - ウ 1階から5階までさまざまな施設となるが、誰がどのような組織体制で責任をもって運営していくのか。
 - エ 今後図書館の整備も予定されているが、駐車場対策はどうなるのか。
 - オ 5階に入浴施設があるという建物の状況から考えると、今後はさまざまな維持管理費が予想されるが資産台帳は作成してあるのか。また、2階の改修にあわせ総点検をするべきと思うが予定はないのか。

2 教育の向上について

- ・ 博物館収蔵品（歴史的な資料・民具・農具・標本や化石など）の状況について
 - ア 保存状態や利活用はどうなっているか。
 - イ 常設することにより教育的価値や地域の資源としての価値がより高まると思うが、その考えはないか。

3 歳入について

- ・ 個人として納税すべき税の収納状況について
 - ア 派遣社員や外国人の就労など、雇用形態の多様化により給与所得者の滞納が増加していると聞かすが、現状とその対策は。
 - イ 個人市民税、国保税では毎年多額の不納欠損処理がなされているが、現状と対策は。
 - ウ 固定資産税（土地）について
 - (ア) 免税点である課税標準額が30万円未満の土地所有者の件数は。
 - (イ) 所有者不明により課税がなされていない件数と、その場合どのような処理をしているのか。
 - (ウ) 永代地上権が設定されている土地の把握は可能なのか。

青山 幸生 議員（一般質問）

・ 滑川市の土地利用について

- (1) 今年度策定予定の滑川市都市計画マスタープランについて、コンセプトはどのように考えているか。
- (2) 前回のマスタープランで、やり残したものはあるか。
- (3) 前回策定時とは違い、人口減少をマスタープランに反映させなければいけないが、対策はどうか。
- (4) 中滑川駅周辺、さらしや通りまでの商業地域をどのように考えているか。
- (5) 現在の用途地域は、不適切になってきていると思うがどうか。
- (6) 滑川市が考えるメインストリートは、どこなのか。
- (7) 企業立地重点促進区域について新たな取り組みを考えてみてはどうか。
- (8) 市街地の延焼火災について延焼遮断帯の整備とはどのようなものか。
- (9) 今後滑川市は公園、緑地をどのくらい増やす予定なのか。
- (10) 北アルプス横断道路構想の推進について、性急すぎると思えるがどうか。

高橋 久光 議員（一般質問）

1 住居表示について

- ・ 一自治会（町内会）として独立しているにもかかわらず、住居表示（郵便番号）がない町内の対応について問う。

2 中小河川の管理について

- ・ 市内の中小河川の管理を徹底すべきでないか（堤防は害虫の住み家に、中州はこれからの梅雨期に多いゲリラ豪雨による水害対策の対応をどのように考えているか）。

3 有害鳥獣対策について

- ・ 市内に毎年出没する有害鳥獣の対策について、今日までの成果と今後の対応は。

4 堀江運動公園について

- ・ 調査費が計上されているが具体的な目的を示してほしい。

5 有料公共施設の利用について

- ・ 1人でも多くの市民に利用してもらえる施設として、より検討すべきと思うが。

6 みんなでつくる協働のまち推進事業について

- ・ 今日までの実績と評価について伺う。

高木 悦子 議員（一般質問）

1 立山黒部ジオパーク構想の積極的な活用を！

- (1) 立山黒部ジオパーク構想が商工会議所など民間主導でスタートしたことから、観光目的との見方が強いが、基本は「市民のためのもの」であり、社会・教育事業抜きにジオパークは考えられない。教育委員会の見解は。
- (2) 糸魚川市では、教育センターにおいて学芸員が市内のジオサイトを活用した社会科や理科の授業方法をアドバイスするなど、実際の授業で市内のジオサイトで学ぶなどの取り組みが、子どもたちの科学的関心と地元への誇りの醸成に繋がっているという。滑川市の総合学習やふるさと教育に、ジオパークの発想を取り込めないか。
- (3) ジオサイトは、地層や地質、地形などに限定したものではなく、生態系や歴史、文化、景観や食、暮らし、産業に至るまで、その土地ならではの領域を切り口と考えている。滑川市内のジオサイトの発掘と、市内外への発信を積極的に行うべきではないか。
- (4) ほたるいか群遊海面も当然ジオサイトの一つであり、ほたるいかミュージアムもジオパークの発想を取り入れて、博物館としての機能を持つべきではないか。それが、観覧者数の増加に繋がるとは考えないか。

2 地震災害に対する認識を問う

- (1) 富山県内において最も大きな被害が想定されているのは「呉羽山断層帯」による地震であるが、滑川市内の被害状況はどのようになると、平成 23 年 6 月に発表された富山県の研究では、どのように分析されているか。
- (2) 東日本大震災を受けて、平成 24 年 3 月に富山県で津波調査研究が発表されているが、滑川市内の津波による想定被害はどのように分析されているか。
- (3) 想定される被害状況では、津波による被害よりも地震そのものによる被害の方が大きい。住宅の耐震化を進めることにより人的被害も抑制で

きるとされている。「津波対策班」の前に「耐震化推進班」ではないのか。

- (4) 公民館やごみステーションなどに海拔表示がされているのは、何のためか。
- (5) 寺家小学校の児童が市民交流プラザへの避難訓練を行ったが、何のためか。
- (6) 日医工や青志会館は、津波時の避難場所として考えたのはなぜか。
- (7) 滑川市が誤った情報の発信源になってはいないか。津波被害に対する市民の誤った認識を正さなければ、救える命を逆に失うことに繋がりはないか。

3 西加積地域における交番設置に関する市の見解を問う

- (1) 大型ショッピングセンターや飲食店、夜間営業を行う大型店などが西加積地内の旧8号線とバイパスの間に集中している。小中学生の通学エリアでもあり、交通事故を含めて、犯罪の発生も懸念され、地域から交番設置の要望があるが、現状を踏まえての滑川市の見解は。
- (2) 全国的に交番の廃止・統合が進んでいて、新規の交番設置は難しいとされている。交番に代わる施設などの設置について、検討は行っているか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 子育て政策について

- (1) 市民交流プラザの2階が子ども図書館になる。子どもたちの交流が活発になり現在の施設では、落下防止対策が十分ではなく危険である。空調効率も悪く、落下防止アクリル板を3階まで設置してほしい。
- (2) 学童保育を6年生まで延長してはどうか。
- (3) 平成27年度からの子ども・子育て新制度に向けて
 - ア 職員の配置はどのように対応して行くのか。
 - イ 市内の保育所、幼稚園のニーズ調査はいつ行う予定か。
 - ウ 今後施策の検討に当たって専門家を招いた検討委員会の考えはないのか。
- (4) 子ども・子育て会議について
 - ア どのようなメンバーで、いつから始まったか。目的は何か。
 - イ 滑川市としての取り組み状況は。
 - ウ 新制度に向けた決定事項は子育て会議が関与しなければならないことが多くあると聞いているが、どのようなことがあるか。

2 滑川市重点要望について

- (1) 県道交通安全施設の整備促進の中で有金8号線までとの説明だったが、通学路である有金町内から堀江町内交観橋までの必要性も高い。この区間の要望をどのように考えているか。
- (2) 消雪施設設置の新規採択は非常に困難と聞いているが、県の新規要望でのすり合わせができているからか。
- (3) 産婦人科医師の確保対策の推進についての滑川市の取り組みは（医師と看護師分の補助金上乘せなど）。

3 安全対策について

- (1) 柳原新町交差点が変わった。菰原の交差点をスクランブル交差点に。

- (2) 中央道のアンダークロスに水深 15cm とかの冠水表示を。また、道路の構造上、危険と思われる場所にカラー舗装など。

4 運動公園について

- ・ 業務委託料が予算化されているが、紫外線対策やPM2.5対策のため屋内公園等考えられないか。計画の段階から、地元のみならず各方面から意見を聞くことも大切と思うがどうか。

5 行革のなかで

- (1) 職員の階級を係制にしては。
- (2) 新規採用状況は。
- (3) 年齢制限は(市役所嘱託職員がどんどんスキルを高めている人もいる。専門職として新規採用のチャンスをも！即戦力)。

原 明 議員（一般質問）

1 学校給食について

- (1) 滑川産野菜等の食材の使用品目拡大への取り組みと給食に郷土料理のメニューはあるのか。
- (2) 完全米飯給食の実施について

2 健康、体力づくりの向上対策について

- ・ 小中学校の体力測定結果と体力づくりの向上対策は。

3 健康診査について

- (1) 特定健康診査、後期高齢者の健康診査、がん検診などの受診状況について
- (2) 健診項目の基準の範囲見直しによる影響は。
- (3) 市職員の健康診査の受診状況は。

4 農業の振興について

- (1) 多面的機能支払制度の取り組みについて
- (2) 有害鳥獣対策について

